

障害や難病等のある方の暮らしを支えるためのアンケート

～ご協力のお願い～

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりをより一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ改定いたします。この計画に市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や特定疾患受給者証をおもちの方の中から 700 人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

調査結果は、皆さまが健やかな毎日を過ごせる地域づくりに役立てます。

ところで、「地域福祉」という言葉を聞いたことはありますか？

調布市ではこれまで、国の取組よりも一足早く、地域のみんなで支え合い、みんなで助け合う誰もが暮らしやすい地域づくりを進めてきました。このことを「地域福祉」といいます。

例えば、地域のお祭りに参加したり、身近な公園を掃除したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、地域福祉活動のひとつです。

地域福祉は、市民、団体、企業の皆さまが対象であり、活動主体も皆さまです。市民主役の地域づくりを市全体にさらに広げていくための計画が「地域福祉計画」なのです。



このアンケートは無記名で行い、回答は統計的に処理いたします。個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見をお聴かせください。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

パラハートちょうふ
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

令和 4 年●月 調布市長 長友貴樹

この調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8 センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォン用アプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年●月●日(●)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》
(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名ご本人がお答えください。
なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の方が記入しても差し支えありません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封緘し、回答期限までにポストに投函してください。

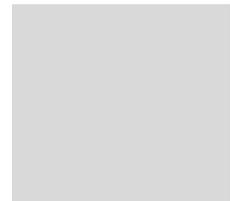
《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②ログイン画面で下記のパスワードを入力すると回答ページに移動します。調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

https *****

パスワード *****



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課 担当 小島, ●●

電話 042-481-7135(課直通)

Fax 042-481-7058

E-mail syougai@w2.city.chofu.tokyo.jp

ページ片側に
音声QRコード

★は、令和元年調査にあった設問
★#は、同調査の設問から選択肢や回答者を変更した設問
#は、新規設問

ページ片側に
QRコード

問1 ★#この調査に回答していただく方を教えてください。(1つに○)

1 本人	2 家族等が代筆	3 その他
------	----------	-------

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 ★#性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問3 ★#年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年●月1日現在)

1 10 歳代	3 30 歳代	5 50 歳代	7 70 歳代
2 20 歳代	4 40 歳代	6 60 歳代	8 80 歳以上

問4 ★#お住いの小学校地域(福祉圏域)を教えてください。(1つに○)

小学校地域(番号に○)	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1 緑ヶ丘・滝坂	***市で挿入
2 若葉・調和	
3 北ノ台・深大寺	
4 上ノ原・柏野	
5 第二・八雲台・国領	
6 染地・杉森・布田	
7 第一・富士見台・多摩川	
8 第三・石原・飛田給	

※同じ地区でも小学校地域が異なる場合があります。

障害者アンケート【18 歳以上】

問5 ★#住居形態を教えてください。(1つに○)

1 持ち家(一戸建て)	6 社宅・公務員住宅等
2 持ち家(集合住宅)	7 グループホーム
3 民間賃貸(一戸建て)	8 施設
4 民間賃貸(集合住宅)	9 その他(具体的に:)
5 公営住宅(市営・都営住宅等)	

問6 ★同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

1 ひとり暮らし(グループホーム等を含む)	6 孫(孫の配偶者を含む)
2 配偶者(夫または妻)	7 兄弟姉妹
3 父親	8 祖父母
4 母親	9 その他(具体的に:)
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	

問7 ★#お持ちの手帳とその等級を教えてください。(いくつでも○)

番号に○	等級・種別に○
1 身体障害者手帳	→ 1級 2級 3級 4級 5級 6級
2 愛の手帳	→ 1度 2度 3度 4度
3 精神障害者保健福祉手帳	→ 1級 2級 3級
4 特定疾患受給者証(難病医療証)	
5 持っていない	

障害者アンケート【18 歳以上】

問8 ★#どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定疾患受給者証をお持ちの方は、「14 その他」の欄に病名をご記入ください。

- 1 目が不自由(視覚障害)
- 2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)
- 3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)
- 4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)
- 5 心臓, 腎臓, 肝臓, 呼吸器, ぼうこう, 直腸, 小腸などの障害(内部障害)
- 6 免疫機能障害
- 7 知的障害(精神遅滞・ダウン症など)
- 8 自閉症
- 9 自閉症以外の広汎性発達障害(アスペルガー症候群など)
- 10 てんかん(ウエスト症候群など)
- 11 精神疾患・精神障害
- 12 発達障害
- 13 高次脳機能障害
- 14 その他(具体的に: _____)

2 相談支援についておたずねします

問9 ★あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

		知っている	知らない
回答例		①	2
ア ドルチェ	主に身体障害, 高次脳機能障害のある方の相談窓口です。	1	2
イ ちょうふだぞう	主に知的障害のある方の相談窓口です。	1	2
ウ 希望ヶ丘	主に精神障害のある方の相談窓口です。	1	2
エ こころの健康支援センター	主に精神障害, 発達障害のある方の相談窓口です。	1	2
オ 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	専門の相談員が難病にかかったことでの不安や悩みごと全般に対する相談を受け, 情報を提供する窓口です。	1	2
カ 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	障害者の虐待に関する相談・通報を受ける窓口です。	1	2
キ 調布ライフサポート (総合福祉センター内)	経済的な理由等でお困りの方に対するトータルな相談窓口です。	1	2
ク 地域包括支援センター (市内 10 か所)	高齢者の方やご家族の方が, 福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口です。	1	2
ケ 成年後見制度	判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を, 後見人等が補っていくことによって, 法的に保護する制度です。	1	2
コ 住まいぬくもり相談室	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス, 行政支援などを紹介します。	1	2

問10 ★悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

- 1 一緒に住んでいる家族・親族
- 2 離れて住んでいる家族・親族
- 3 学校の先生
- 4 友人・知人
- 5 相談支援機関(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の職員
- 6 サービス等利用計画の作成, モニタリングなどを行う相談支援専門員
- 7 障害者施設(作業所など)の職員, ヘルパー
- 8 介護保険のケアマネジャー
- 9 市役所の職員
- 10 保健所の職員
- 11 民生委員・児童委員
- 12 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員
- 13 その他(具体的に:)
- 14 相談する人がいない
- 15 相談の必要はない

問11 ★#相談するときに苦勞することや不満なことはありますか。(いくつでも○)

- 1 話を聞いてもらえない
- 2 知りたいことを答えてくれない
- 3 言っていることが理解できない
- 4 話したいことが伝わらない
- 5 いろいろな人に同じ話をすることが負担である
- 6 相談に時間がかかり過ぎる
- 7 希望する日や時間に相談できない
- 8 人目が気になる
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない

問12 # これからの生活で不安なことはありますか。(いくつでも○)

- 1 相談相手や介助者がいない
- 2 周りの人が障害や病気に理解がない
- 3 働く職場が見つからない
- 4 収入がない, 少ない
- 5 住まいがない
- 6 趣味, 生きがいがない
- 7 自分の健康や体力に自信がない
- 8 支援やサービスが受けられない
- 9 人づきあいがうまくいかない
- 10 介助者の健康が心配
- 11 自分のために家族の生活に制約がかかる
- 12 その他(具体的に:)
- 13 不安はない

問13 ★# あなたは, 医療機関の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)

- 1 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない
- 2 歯科診療に関する選択肢
- 3 障害を理由に診療や健診等を断られたことがある
- 4 通院するときに介助してくれる人がいない
- 5 医療費や交通費の負担が大きい
- 6 医師とコミュニケーションがとりづらい
- 7 その他(具体的に:)
- 8 特になし

問14 ★ 今後, どのように生活したいですか。(1つに○)

- 1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する
- 2 ひとり暮らし, または自分の配偶者と一緒に生活する
- 3 グループホームで生活する
- 4 入所施設で生活する
- 5 その他(具体的に:)
- 6 わからない

3 市民同士のささえあいについておたずねします

問15 # 近年, 様々な主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。
(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1 地縁を基盤とする活動(自治会, 地区協議会, 老人クラブ, マンション管理組合等) |
| 2 特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人, 社会福祉法人等) |
| 3 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会, 教室, 子育てサークル等) |
| 4 学校等を基盤にする活動(保護者会, PTA, おやじの会等) |
| 5 同じ障害や病気の人達の活動(当事者団体, 障害者施設や病院でのサークル等) |
| 6 その他(具体的に: _____) |
| 7 わからない, 関心がない |

問16 # あなたは今後, 地域活動・ボランティア活動に取り組みたいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 積極的に, 取り組んでいきたい | 4 取り組みたいが, できない |
| 2 できるだけ, 取り組んでいきたい | 5 あまり取り組みたくない |
| 3 機会があれば, 取り組んでもよい | |

4 就労・社会参加についておたずねします

問17 ★#現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 作業所
- 5 仕事をしていたが, 現在は仕事をしていない
- 6 これまで仕事をしたことがない

問18 ★職場や学校の人に, あなたの障害や病気のことを伝えてありますか。(1つに○)

- 1 伝えている
- 2 伝えていない

問19 ★#あなたは, どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 作業所
- 5 働きたくない
- 6 働くことができない

問20 ★あなたが仕事をするために, 必要なことはありますか。(いくつでも○)

- 1 技術, 知識, 資格などの習得
- 2 心身の健康の維持・向上
- 3 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定
- 4 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)
- 5 雇用する会社の施設面でのバリアフリー
- 6 雇用する会社の上司や同僚の病気や障害への理解, 協力
- 7 通勤の支援
- 8 勤務中に相談できたり, 介助をしてくれる人がいること
- 9 就職のための相談窓口
- 10 就職後の仕事や人間関係の悩みを相談できる窓口
- 11 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特に必要ない

障害者アンケート【18 歳以上】

問21 ★# 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	十分にある	十分ではない 機会はあるが、	機会がない	必要ない・できない
回答例	①	2	3	4
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む)	1	2	3	4
イ 家族と出かける(通勤・通所・通院は除く)	1	2	3	4
ウ 友人との交流	1	2	3	4
エ スポーツ・運動をする, 見る機会	1	2	3	4
オ 趣味や習いごと	1	2	3	4

問22 ★スポーツ・運動は、どのくらい活動していますか。(1つに○)

1 週に2回以上	3 月に2, 3 回程度
2 週に1回程度	4 ほとんどしない

問23 # スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

1 地域の体育館	4 その他(具体的に:)
2 民間のスポーツクラブ	5 しない, できない
3 通所先の施設(作業所など)	

問24 # スポーツ・運動をする時に必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

1 場所	5 介助者
2 指導者	6 一緒にやる仲間
3 器具・用具	7 その他(具体的に:)
4 移動手段	8 スポーツ・運動はしない, できない

5 バリアフリー、権利擁護の取組についておたずねします

問25 ★調布のまちは、障害(身体障害, 知的障害, 精神障害, 難病など)のある人にとって、福祉サービス, バリアフリー, 市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1 つに○)

1 住みやすいと思う 2 どちらかといえば、住みやすいと思う 3 どちらかといえば、住みやすいと思わない 4 住みやすいと思わない
--

問26 ★#誰もが暮らしやすい地域づくりという視点で市内の施設や環境, 人々の意識を振り返ると、どのように感じていますか。(それぞれ1 つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす, 幅を広げる)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院等のスロープ, エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように, 障害物(商品や看板, 放置自転車, 電柱等)が取り除かれ, 段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字, 絵, 複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5

障害者アンケート【18 歳以上】

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ケ 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン※1	1	2	3	4	5
シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気等に配慮する人々の意識や接し方	1	2	3	4	5

※1 ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰でもが使えるものを作るという考え方。

問27 #誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて、病気、障がい、国籍、生活習慣等の違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思えますか。(2つまで○)

1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育 2 意識啓発のための研修・講演会の開催 3 障害者、外国人等、様々な住民が交流する機会を増やす 4 わかりやすい、使いやすい情報の提供 5 その他(具体的に:) 6 わからない

障害者アンケート【18 歳以上】

問28 ★＃お互いにその人らしさを認め合い、ともに生きる社会を目指す法律や取組をご存知ですか。
(それぞれ1つに○)

		内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない
回答例		①	2	3
ア 障害者差別解消法	全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律(平成 28 年 4 月 1 日施行)	1	2	3
イ 合理的配慮	障害者差別解消法に基づき、役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応する(事業者は対応に努める)こと。	1	2	3

出典:内閣府ホームページ

問29 ★＃普段の暮らしや外出のとき、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はありますか。(いくつでも○)

1 教育の機会	6 まちなかでの人の視線
2 仕事や収入	7 交通機関や建物の配慮
3 近所づきあい	8 行政職員の応対・態度
4 地域の行事や活動	9 その他(具体的に:)
5 店での扱いや店員の態度	10 特に感じない

問30 ★あなたは、調布市が配布しているヘルプカード※、ヘルプマーク※を持っていますか。(それぞれ1つに○)

①ヘルプカード	1 持っていて、いつも持ち歩いている 2 持っているが、持ち歩いていない 3 持っていないが、ほしいと思う 4 持っていないし、必要ない
②ヘルプマーク	1 持っていて、いつも持ち歩いている 2 持っているが、持ち歩いていない 3 持っていないが、ほしいと思う 4 持っていないし、必要ない

※ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。障害福祉課の窓口で配布しています。これとは別に、障害のある方に限らず、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード



ヘルプマーク

問31 ★# ヘルプカードを持っていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 持っていない・わからない
------	------	----------------

6 災害時の対策についておたずねします

問32 #防災マップ, 洪水ハザードマップ等で避難場所・避難経路・警戒区域等を確認していますか。(1つに○)

1 確認している	2 確認していない
----------	-----------

問33 #災害や火災等の緊急の際, 避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

1 防災行政無線	6 ケーブルテレビ
2 調布市防災・安全情報メール	7 SNS
3 調布 FM	8 その他(具体的に:)
4 市ホームページ	9 わからない
5 市ツイッター	

7 暮らしのことについておたずねします

問34 #コロナ禍によってあなたの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
回答例	①	2	3	4
ア 勉強や学習等のスキルアップに充てる時間	1	2	3	4
イ 人との会話や連絡の頻度(電話や LINE 等を含む)	1	2	3	4
ウ 保育サービス, 福祉サービス等の利用頻度	1	2	3	4
エ 興味や関心のあることに充てる時間	1	2	3	4
オ 余暇活動(ガイドヘルパーによる外出など)				
カ *検討中				
キ *検討中				

8 デジタルの活用についておたずねします

問35 # 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 インターネットサイト(ホームページ, SNS) | 4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ |
| 2 市の広報紙, 印刷物 | 5 家族, 知人からの口コミ |
| 3 相談窓口(市役所, 行政機関, 行政事務所など) | 6 特になし・情報は入手していない |

問36 # 普段, スマートフォン等の情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 使っている | 2 使っていない |
|---------|----------|

問37 # 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら, 参加しやすくなりますか。
(1つに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 参加しやすくなる | 3 いずれにしろ参加しない, 関心がない |
| 2 変わらない(参加しやすくない) | |

問38 # あなたがスマートフォン等の情報端末やパソコンなどを使ってほしいこと, 暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら, 教えてください。(自由記述)

9 誰もが暮らしやすい地域づくりについておたずねします

問39 ★＃調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(5つまで○)

- 1 困ったことを気軽に相談できる窓口
- 2 健康づくり, 健康の維持のための支援
- 3 訪問診療, 訪問看護などの地域での医療サービス
- 4 手当や医療費の助成などの経済的な支援
- 5 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス
- 6 成年後見制度など金銭, 財産などの管理の支援
- 7 ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス
- 8 ガイドヘルパー, コミュニケーション支援など社会参加の支援
- 9 介助者の病気など, 緊急時における一時預かり, ショートステイ
- 10 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成
- 11 日中の活動場所の整備
- 12 企業などで働くための支援(就労支援)
- 13 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備
- 14 グループホームなど地域における住まいの場の整備
- 15 障害理解の促進や差別の解消
- 16 公共施設や道路, 交通機関などのバリアフリー
- 17 障害に応じた多様な情報提供の充実
- 18 災害時の支援体制の整備
- 19 障害のある当事者, 家族同士の情報交換, 交流の機会
- 20 その他(具体的に:)

※問 40～43 は、主に介助や支援をしているご家族におたずねします。

問40 ★# ご本人を主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。
主に介助や支援をしている方の年齢を教えてください。(1つに○)

1 10 歳代	3 30 歳代	5 50 歳代	7 70 歳代
2 20 歳代	4 40 歳代	6 60 歳代	8 80 歳以上

問41 # ご本人を主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。
ご自分(主に介助や支援をしている方)の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

1 よい	4 あまりよくない
2 まあよい	5 よくない
3 ふつう	

問42 ★# あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。 介
助にあたってどのような不安や困りごともがありますか。(いくつでも○)

1 障害や病気のことがよくわからない	
2 適切な介助・支援の方法がわからない	
3 自分の時間が持てない(余暇・外出・休養など)	
4 希望する仕事につくこと・続けることが難しい	
5 身体的な負担が大きい	
6 精神的な負担が大きい	
7 経済的な負担が大きい	
8 他にも介助・支援が必要な家族がいる	
9 相談できる場所ない	
10 介助・支援をする家族自身の高齢化	
11 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	
12 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	
13 障害のある当事者, 家族同士の情報交換, 交流の機会がない	
15 自分の学校・学業がおろそかになる	
14 その他(具体的に: _____)	
15 特にない	

問43 # あなたを主に介助や支援をしているご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。
介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

1 介助者同士が交流したり, 話し合えること 2 介助を離れる時間を作ってくれること 3 本人の相手をしてくれること 4 家事や育児を手伝ってくれること 5 介助の状況に柔軟に対応してくれる職場環境の普及 6 介助の状況に柔軟に対応してくれる学校教育 7 そのほか(具体的に: _____)
--

※次は全員におたずねします。

問44 ★# 市民同士がお互いに支え合い, 住み慣れたまちで誰もが安心して暮らす地域づくり(地域福祉)に向けた取組について, ご意見, ご提案がございましたらお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の ささえあい	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心・環境	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき, 誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し, 図書館等で閲覧できます (令和5年4月頃の予定)。